

別紙1 第7次用デジタル証明書・ NACCSパッケージソフトについて

別紙1-1 第7次用デジタル証明書・ NACCSパッケージソフトの概要

第7次用デジタル証明書・NACCSパッケージソフトの動作確認は以下の環境で実施します。

■ デジタル証明書

	動作確認環境
OS	Windows 11 Pro
Webブラウザ	Google chrome Microsoft Edge
ソフトウェア	.NET Framework 4.8

■ NACCSパッケージソフト

	動作確認環境
OS	Windows 11 Pro
Webブラウザ	Google chrome Microsoft Edge
ソフトウェア	.NET Framework 4.8 ライセンス申請書作成ソフトを利用する場合は、最新版のOpenJDK
ディスプレイ解像度	対角サイズ9インチ以上で8ビットカラーの高解像度 (720p:1280×720ピクセル) ディスプレイ
通信環境	インターネット回線(netNACCS処理方式を利用する場合) NACCSネットワーク(インタラクティブ処理方式を利用する場合)
CPU	1GHz以上で2コア以上、 64ビット互換プロセッサまたはSoC (System on a Chip)
メモリー	4GB以上
ハードディスク	64GB以上
グラフィック機能	DirectX 12以上 (WDDM 2.0 ドライバー) に対応
その他	日本語キーボード、マウス プリンター(バーコードを印字する場合は600dpi以上を推奨、 A4モノクロ印字可能なもの)

■ NACCSパッケージソフトの動作確認環境についての留意事項

- ・パッケージソフトのインストールは管理者権限で実施してください。
- ・WindowsのRT版(ARMアーキテクチャ版)は対象外です。
- ・言語を日本語ロケールにすることで英語版OS上での使用も可能ですが、パッケージソフトは日本語表記となります。
- ・タブレットモードでの動作はサポートされませんので、デスクトップモードでご使用下さい。
- ・高DPI設定(スケーリング)には対応していないため、高DPI設定を行っている場合には設定状態によって画面表示が崩れる場合があります。
- ・プリンターのうち納付書出力用に用いるものは「日本銀行OCRで正確に読み取り可能なOCR印字(OCR-Bフォントを使用)が出力できること」を検証済みである必要があります。(検証済みプリンターはNACCSセンターで公表しています。)
- ・仮想デスクトップ(シンクライアント・VDI等)環境やRPAソフトウェアを用いた動作確認は行っておりません。
- ・上記内容については動作確認済みの環境であり、動作を保証するものではありません。また、動作確認済みのOS・ブラウザをご利用の場合でも、お客さまのご利用環境(設定、通信速度等)によっては正常に動作しない場合がございます。
- ・本動作環境の記載内容はマイクロソフト社のサポート終了や新製品の発売等により変更となる場合があります。

第7次NACCS(総合運転試験を含む)のご利用にあたり、第7次用デジタル証明書とパッケージソフトをインストールしていただく必要がございます。

なお、**第6次用と第7次用のパッケージソフト等を、両方とも一つの端末(PC)にインストールすることが可能です。**

【デジタル証明書】

第7次用デジタル証明書においては、認証コード1、2、3の3つのコードを使用して取得していただきます。

(現行の認証コードは1、2のみですが、認証コード3が第7次から新たに追加されます。)

第7次用デジタル証明書の認証コードについては、第7次用NSSにて確認いただけます。総合運転試験の開始までにご確認ください。

なお、第7次用デジタル証明書の認証コード3は、デジタル証明書が再発行されるごとに変更されます。

【パッケージソフト】

第7次用NACCS掲示板からパッケージソフトのインストーラーをダウンロードし、端末へインストールします。

(パッケージソフトを利用する端末が、動作確認環境を満たしていることを確認してください。)

総合運転試験中、フェーズによってパッケージソフトのメニューバーの色を変更いたします。

フェーズ1～2：メニューバーは**オレンジ色**です。



フェーズ3：バージョンアップの確認試験を行います。

パッケージソフトを起動することでバージョンアップが自動的に行われ、メッセージダイアログに従いパッケージソフト再起動後、メニューバーは**オレンジ色**から**緑色**に変更されます。



フェーズ4：本番化に向け、自動または手動でパッケージソフトのバージョンアップを行います。

メニューバーは**青色**に変更されます。

なお、それまで総合運転試験にて送受信を行った電文は全て削除されます。



第7次用デジタル証明書の取得時に必要な認証コード1、2、3は、第7次用NSS(暫定版)にてご確認いただけます。

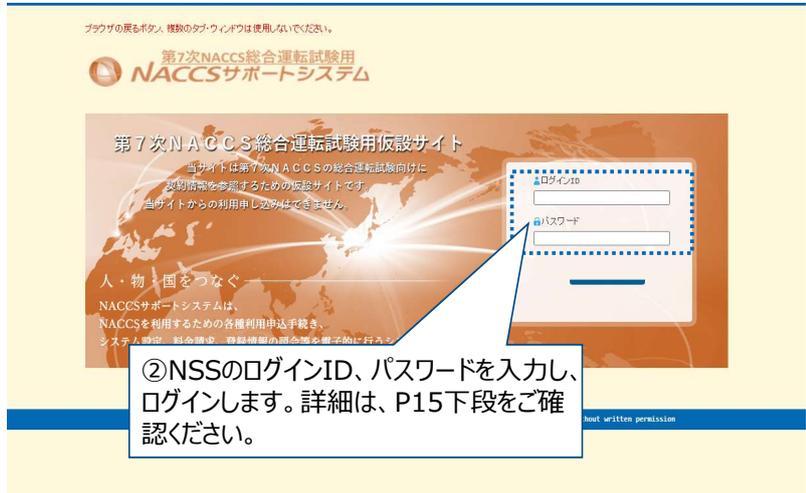
<確認手順>

第7次用NACCS掲示板



①第7次用NACCS掲示板にアクセスし、「NACCSサポートシステム」のボタンを押下します。

第7次用NSS(暫定版)ログイン画面



②NSSのログインID、パスワードを入力し、ログインします。詳細は、P15下段をご確認ください。

第7次用NSS(暫定版)：メインメニュー画面



③契約内容の確認を押下します

第7次用NSS(暫定版)：契約情報 参照画面



④netNACCSタブを開きます

⑤認証コード1、2、3を確認します

編集情報		デジタル証明書情報							
区分	利用機器区分	パッケージソフト区分	論理端末名	端末アクセス	利用開始日	認証コード1	認証コード2	認証コード3	発行日
共用	net	net	BXXXXX	ABCDEFQ12345ABC	2025/04/01	NACXXXXX	ABCXXXXXXX	2025031400000000	2025/03/14

別紙1-2 第7次用デジタル証明書の取得手順

■ 第7次 NACCS 用デジタル証明書の取得手順

1. ツールのダウンロード手順

第7次 NACCS 用「NACCS デジタル証明書取得ツール」のインストーラーをダウンロードして下さい。

- (1) ブラウザを起動し、以下の NACCS デジタル証明書取得ツールのダウンロード画面 URL にアクセスします。

NACCS デジタル証明書取得ツールのダウンロード画面 URL

<https://cert.nac.nacccs.jp/NACCSClientCA/NacccMPKIClient>

- (2) 「Download」をクリックします。



2. ツールのインストール手順

ダウンロードしたインストーラーファイルを実行すると、インストールが開始されます。インストール手順は以下のとおりです。

- (1) ダウンロードしたインストーラーファイル (NacccManagedPKIClient.msi)を実行します。

- (2) [次へ] をクリックします。



- (3) [次へ] をクリックします。



※ インストール先フォルダーを変更する場合は、[参照] をクリックしてインストール先を変更します。

※ [ディスク領域] をクリックすると、以下の画面が表示され、各ドライブの空き容量などを確認できます。



(4) [次へ] をクリックします。



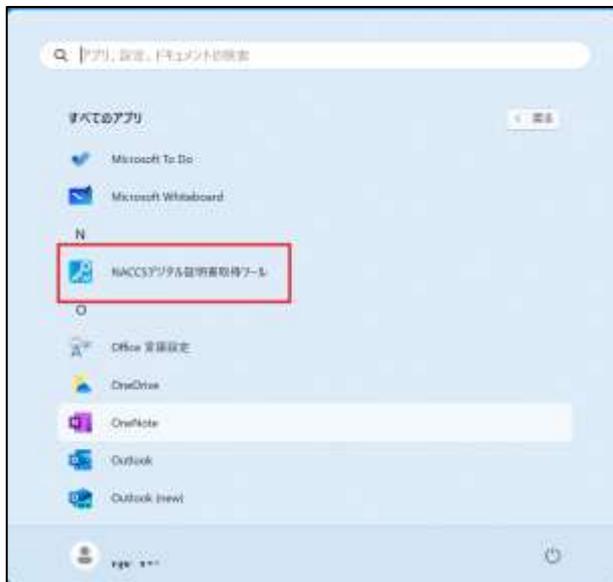
(5) インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。
[閉じる] をクリックし、インストール操作を終了します。



- (6) タスクバーのシステムトレイアイコンの非表示メニューに以下のアイコンが表示されていることを確認します。



- (7) スタートメニューの[すべてのアプリ]で以下が追加されていることを確認します。



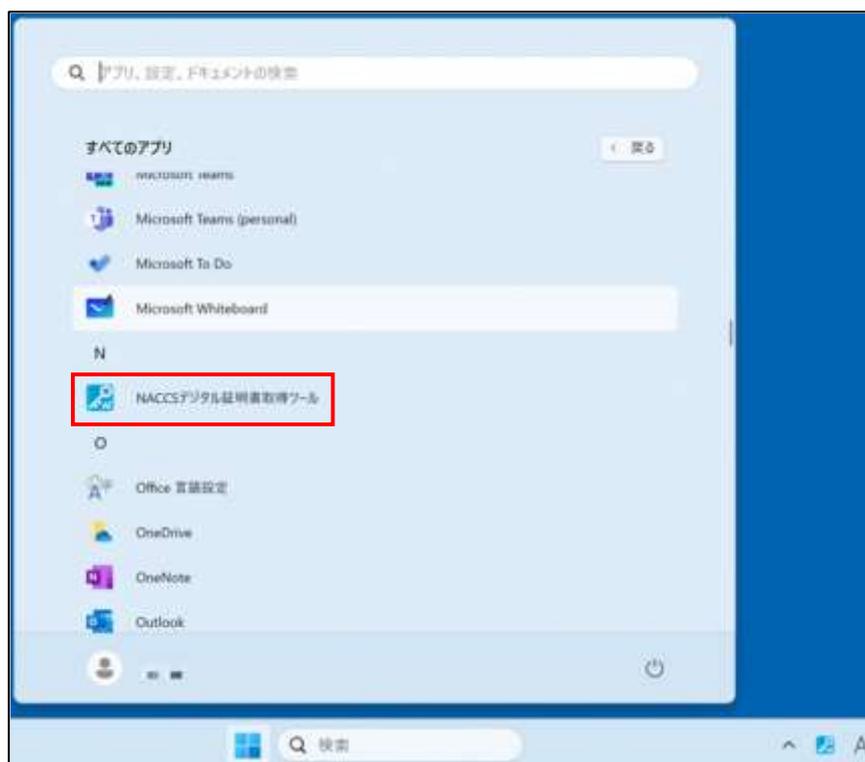
3. ツールの起動

「NACCS デジタル証明書取得ツール」の起動手順およびメニューの説明となります。

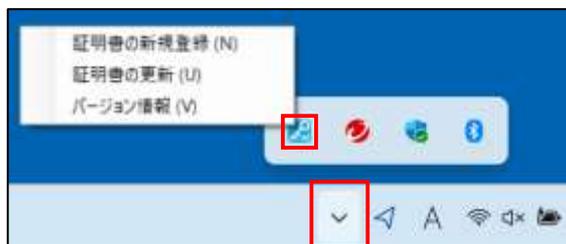
- (1) NACCS デジタル証明書取得ツールは、Windows にログインする際に自動で起動します。正常に起動していれば、タスクバーのシステムトレイアイコンの非表示メニューに以下のアイコンが表示されます。



NACCS デジタル証明書取得ツールをタスクマネージャなどから強制的に終了した場合等については、スタートメニューにある以下のメニューをクリックすることで、再び起動します。



- (2) NACCS デジタル証明書取得ツールのアイコンを右クリックすることでメニューが表示されます。



NACCS デジタル証明書取得ツールでは以下のメニュー項目があります。以下の表は、メニュー項目と、メニュー項目に対応する機能の表になります。

メニュー項目	機能
証明書の新規登録	端末に新しい証明書を登録することができます。
証明書の更新	ユーザ証明書ストア内にある証明書のうち NACCS センターより発行された第 7 次 NACCS 用デジタル証明書を更新することができます。
バージョン情報	NACCS デジタル証明書取得ツールのバージョンを確認できます。

4. 証明書の新規取得手順

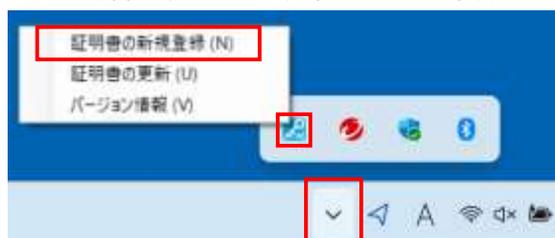
「NACCS デジタル証明書取得ツール」を使用して、下記の第 7 次 NACCS 用デジタル証明書を新規取得／登録してください。

- ・第 7 次 NACCS 用デジタル証明書（クライアント証明書）
- ・第 7 次 NACCS 用デジタル証明書（ルート証明書）

<注>

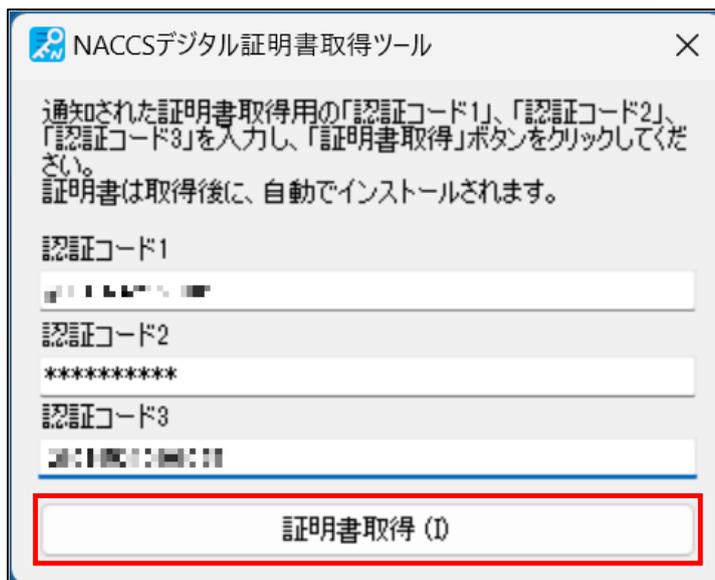
以下の手順は、画面が実際と一部異なる場合があります。

- (1) アイコンを右クリックすると、以下のメニューが表示されます。[証明書の新規登録] を選択します。



- (2) 以下の画面が表示されます。「認証コード 1」、「認証コード 2」、「認証コード 3」にそれぞれ入力して、**[証明書取得]** をクリックします。

※認証コード 1～3 は、第 7 次用 NSS にてご確認くださいませ。詳細については、P43 をご確認ください。



5.手順の詳細について

本手順書は、第 7 次用 NACCS 掲示板に掲載する以下の手順書から、デジタル証明書取得ツールでの新規取得の手順のみ記載を抜粋しております。その他の手順（デジタル証明書の更新手順等）につきましては、各資料本編をご確認ください。

また、利用環境に応じた手順書がそれぞれございますので、該当する手順書の内容に沿って作業をお願いいたします。

- ・第 7 次 NACCS 専用デジタル証明書_新規取得／更新手順書（デジタル証明書取得ツール編）
- ・第 7 次 NACCS 専用デジタル証明書_新規取得／更新手順書（Web ブラウザ編）
- ・第 7 次 NACCS 専用デジタル証明書_新規取得／更新手順書（モバイル（iPhone）編）
- ・第 7 次 NACCS 専用デジタル証明書_新規取得／更新手順書（モバイル（Android）編）
- ・第 7 次 NACCS 専用デジタル証明書_新規取得／更新手順書（モバイル（iPad）編）

別紙1-3 第7次NACCSパッケージソフトのインストール手順

■ 第7次 NACCS 用パッケージソフトのインストール手順

1.概要

インストールする前に以下をご確認ください。

- パッケージソフトには「netNACCS 処理方式」、「インタラクティブ処理方式」の 2 つの種類があります。
- 「netNACCS 処理方式」は、インターネット経由で HTTPS を用いて NACCS に接続する方式です。
- 「インタラクティブ処理方式」は、NACCS ネットワーク経由で HTTP を用いて NACCS に接続する方式です。

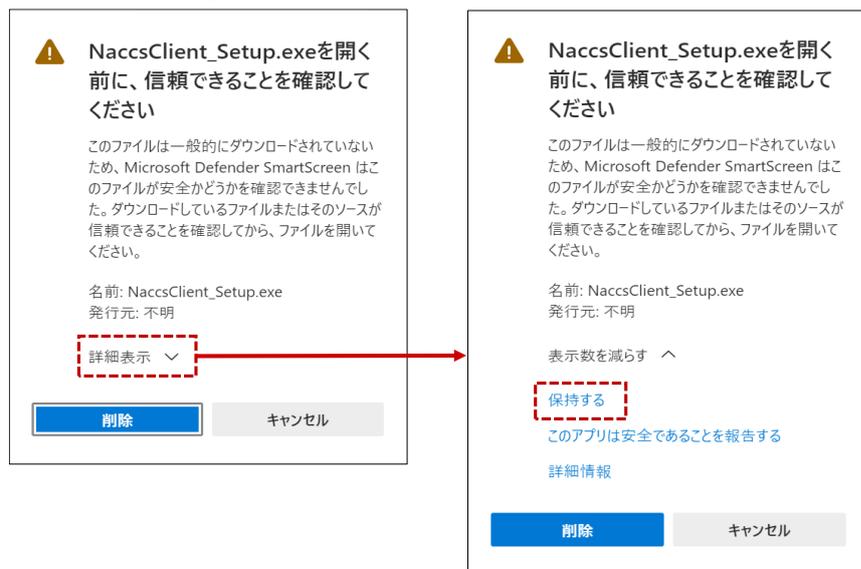
2.パッケージソフトのインストール

第7次 NACCS 用パッケージソフトのインストーラーをダウンロードし、お使いの端末にパッケージソフトをインストールします。パッケージソフトのインストールは管理者権限で実施してください。

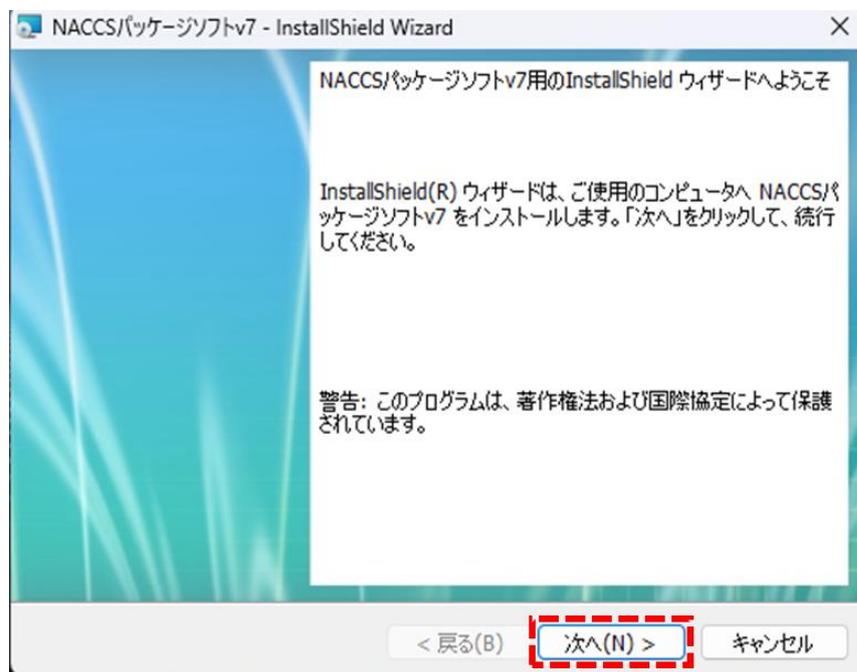
1. 第7次用 NACCS 掲示板より、パッケージソフトのインストーラーをダウンロードします。

※ 以下のような警告メッセージが表示される場合がありますが、問題はないため、以下のように対処してください。（ご利用の Web ブラウザによって、内容が異なる場合があります）

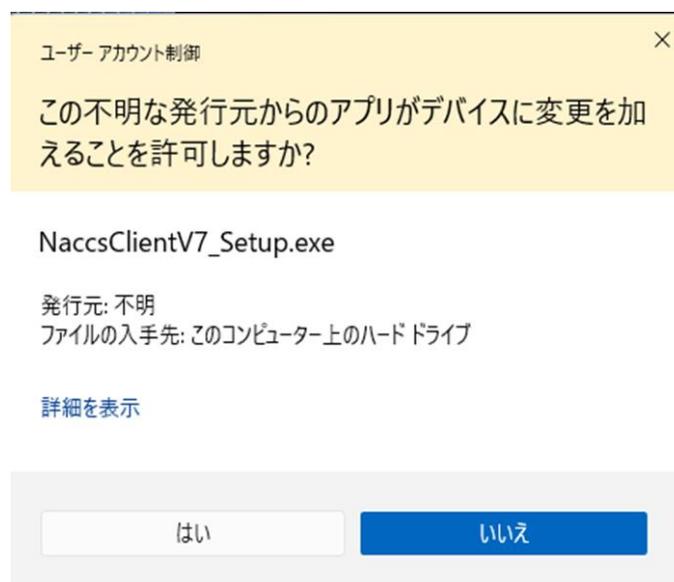
例) Microsoft Edge の場合



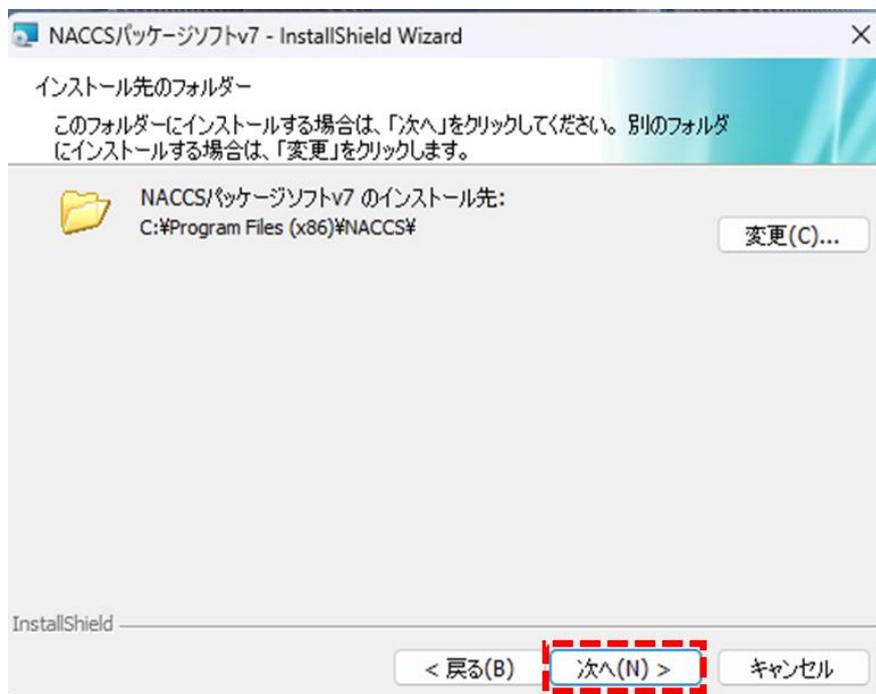
2. NaccsClient_Setup.exe を実行して、インストーラーを起動します。



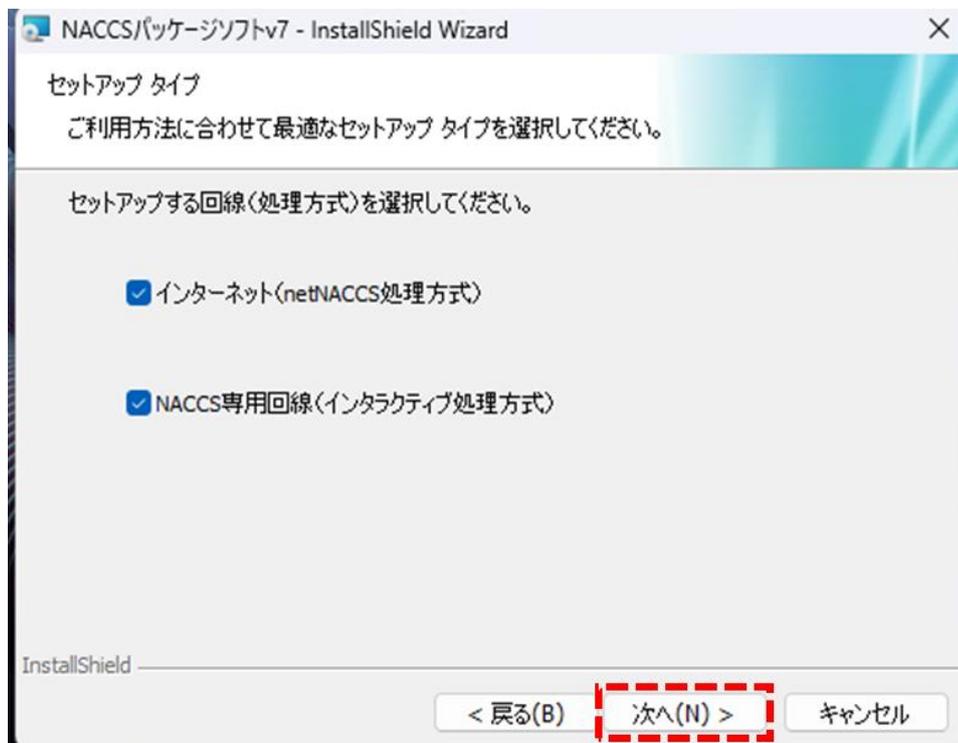
- ※ インストーラー起動時、以下のような警告メッセージが表示される場合がありますが、問題ないため、「はい」 ボタンをクリックしてください。



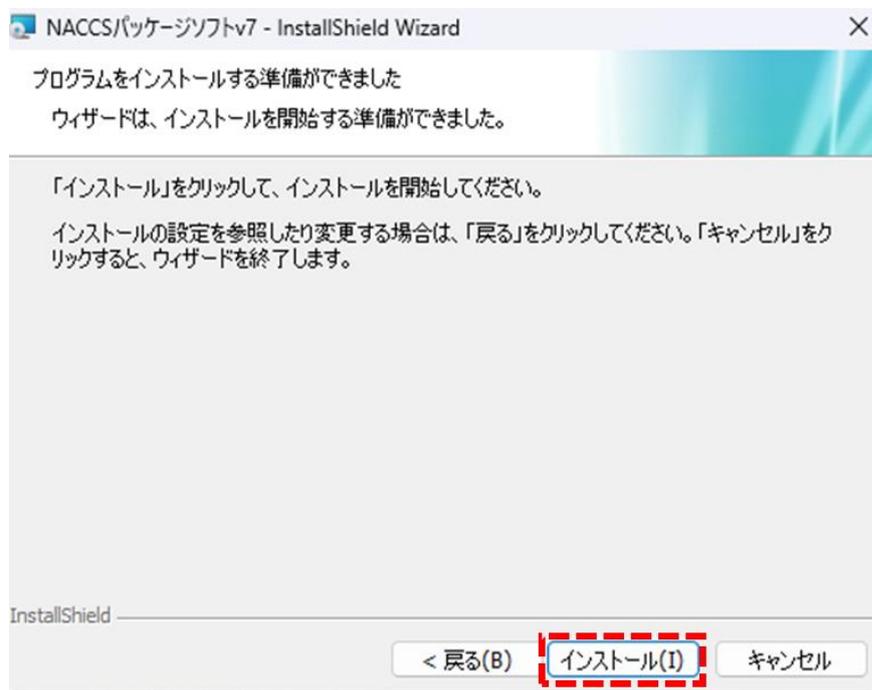
3. インストール先フォルダーは変更せずに [次へ] ボタンをクリックします。



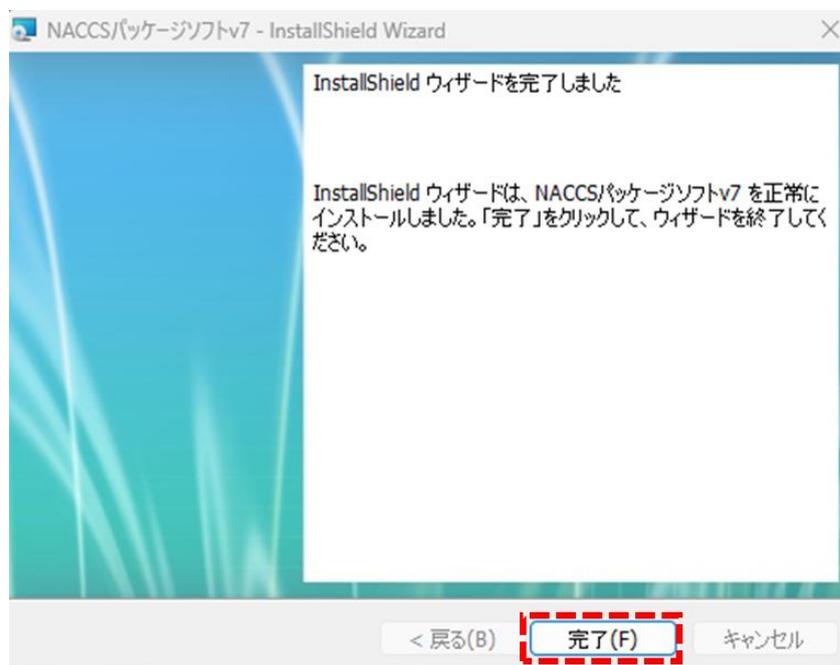
4. NACCS の利用申込時に選択した回線（処理方式）を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。（複数選択することも可能です。）



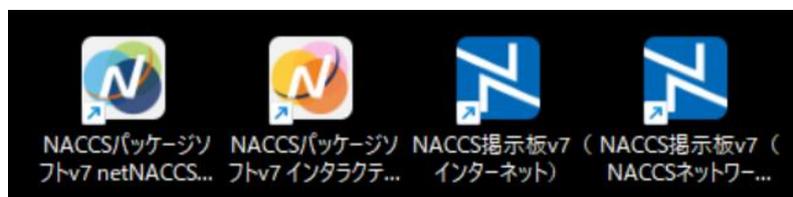
5. [インストール] ボタンをクリックすると、インストールが開始します。



6. インストールが完了後、[完了] ボタンをクリックしてインストールを終了します。



7. デスクトップに選択した回線（処理方式）別のパッケージソフト起動ショートカットアイコン、および第7次用 NACCS 掲示板のショートカットアイコンが作成されます。（アイコンイメージは左から順に netNACCS 処理方式、インタラクティブ処理方式、第7次用 NACCS 掲示板です。）



3.パッケージソフトの初期設定

パッケージソフトを利用するにあたっての初期設定を行います。

(1) 論理端末名、および端末アクセスキーの設定

ご利用のパソコンを NACCS が識別するための「論理端末名」を設定します。初めてパッケージソフトを起動する際、[オプション設定] ダイアログが表示されます。

オプション設定	
端末	端末の全体的な設定を行います。
サーバ	論理端末名 <input type="text"/>
プリンター	端末アクセスキー <input type="text"/>
自動印刷	オプション設定の共有
送信前確認	<input checked="" type="radio"/> 利用者毎（共有しない） <input type="radio"/> 共有する

1. [オプション設定] ダイアログ（端末）の [論理端末名] に NACCS センターから指定された「論理端末名」を入力します。
2. [端末アクセスキー] に NACCS センターから指定された「端末アクセスキー」を入力します。

(2) 通信の設定

(A) クライアント証明書の確認

netNACCS 処理方式をご利用の場合、第 7 次 NACCS へ接続するためのデジタル証明書(発行者が「NACCS Client CA」の証明書)が選択されていることを確認します。(デジタル証明書のインストールが正しく行われている場合は、自動的に選択されます。)

The screenshot shows the 'オプション設定' (Option Settings) interface. The left sidebar contains various settings categories: 端末, サーバ, プリンター, 自動印刷, 送信前確認, 電文振分条件, 自動保存 (種別単位), 自動保存 (出力情報コード単位), and プロキシサーバ. The 'サーバ' (Server) category is selected. The main content area is titled '通信に必要な情報を設定します。' (Set information required for communication). Under the 'クライアント証明書' (Client Certificate) section, the following options are visible: '通信に用いるデジタル証明書を自動的に選択する' (Automatically select digital certificate used for communication) is checked, with a '証明書の選択' (Select Certificate) button; '発行先' (Issued to) is a text field with a blacked-out value; '発行者' (Issuer) is a text field with a blacked-out value; and '有効期限' (Valid until) is a date field set to '2025/01/31'. The 'プロキシサーバ' (Proxy Server) section is partially visible at the bottom.

(B) プロキシサーバの設定

企業内ネットワークでご用意されている HTTP プロキシサーバを使用して NACCS に接続する場合、必要に応じてシステム管理者から指定されたプロキシサーバ情報を指定してください。

The screenshot shows the 'オプション設定' (Option Settings) interface, similar to the previous one. The 'プロキシサーバ' (Proxy Server) section is highlighted with a red dashed box. It contains the following options: 'インターネットオプションの設定を使用して接続する' (Connect using Internet option settings) is selected with a radio button; 'プロキシサーバを使用せず、直接接続する' (Connect directly without proxy server) is unselected; '指定したプロキシサーバを使用して接続する' (Connect using specified proxy server) is unselected, with sub-fields for 'プロキシサーバ名' (Proxy server name), 'ポート' (Port) set to '8080', 'プロキシサーバ認証を行う' (Perform proxy server authentication) which is unselected, and sub-fields for 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password). Below this section is the 'トレース' (Trace) section with an unselected checkbox for '通信トレースを出力する' (Output communication trace).

プロキシサーバ

項番	種類	内容	初期値
1	インターネットオプションの設定を使用して接続する	インターネットオプションのローカルエリアネットワーク設定で設定したプロキシ情報を利用する場合に選択します。	○
2	プロキシサーバを使用せず、直接接続する	プロキシサーバを使用しない場合に選択します。	
3	指定したプロキシサーバを使用して接続する	インターネットオプションに設定しているプロキシサーバとは別のプロキシサーバを使用する場合に選択します。	

プロキシサーバの設定項目

項番	項目名	内容
1	プロキシサーバ名	プロキシサーバのホスト名、または IP アドレスを指定します。 「指定したプロキシサーバを使用して接続する」場合のみ入力可能です。
2	ポート	プロキシサーバのポート番号（1～99999）を指定します。 「指定したプロキシサーバを使用して接続する」場合のみ入力可能です。 初期値：8080
3	プロキシサーバ認証を行う	プロキシサーバで認証が必要な場合にチェックを入れます。 「プロキシサーバを使用せず、直接接続する」場合は入力できません。 初期値：チェックなし
	ユーザー名	プロキシサーバのユーザー名を指定します。 「プロキシサーバ認証を行う」場合のみ入力可能です。
	パスワード	プロキシサーバのパスワードを指定します。 「プロキシサーバ認証を行う」場合のみ入力可能です。 入力値は"*"で表示されます。

4.Java 実行環境の設定（オプション） ※外為関連実施者のみ対象

パッケージソフト（netNACCS 処理方式）にて、外為法関連申請書作成ソフトを使用する場合には Java のインストールおよび設定が必要です。

手順の詳細については、第 7 次用 NACCS 掲示板にて掲載の第 7 次 NACCS 版のパッケージソフト操作説明書をご確認ください。

5.手順書の詳細について

本手順書は、第 7 次用 NACCS 掲示板にて掲載する以下の手順書から、パッケージソフトの新規インストール手順のみ記載を抜粋しております。パッケージソフトの操作方法等については、資料本編をご確認ください。

- ・NACCS パッケージソフト操作説明書

別紙1-4 第6次NACCSパッケージソフトのオプション設定の引継ぎについて

別紙1-4 第6次NACCSパッケージソフトのオプション設定の引継ぎについて(1)

オプション設定の引継ぎについて(netNACCS、インタラクティブ端末)

第6次NACCSパッケージソフトでオプション設定された項目については「オプション設定のインポート/エクスポート」の機能により第7次NACCSパッケージソフトへ設定の移行が可能です。

(1)第6次NACCSにおけるオプション設定のエクスポート方法

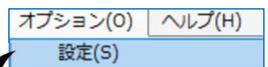
・パッケージソフトの「オプション」>「設定」を開き画面左下の「オプション設定のインポート/エクスポート」を押下し「オプション設定をエクスポートする」を選択します。オプション設定のタブごとにエクスポートしたい項目を選択できます。

(2)第7次NACCSにおけるオプション設定のインポート方法

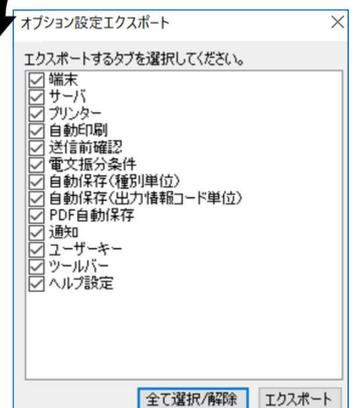
・上記同様「オプション設定のインポート/エクスポート」を押下し「オプション設定をインポートする」を選択します。(1)で出力されたzipファイルを選択しインポートを行います。

※全てのタブの設定をエクスポートしていた場合でも必要なタブごとにインポートすることができます。その後、次スライドのようにパス変更の画面が表示されますので必要に応じて保存先のフォルダパスを変更してください。

パッケージソフトメインメニュー画面



オプション設定のインポート/エクスポート



パス変更

インポート情報にパスが含まれています。パスの確認と変更をしてください。
存在しないフォルダはインポート時に作成します。

タブ名	項目名	エクスポート(変更前)	インポート(変更後)
自動保存 (出力...	ファイル自動保存先[SAF001]	C:¥Users¥ ¥RecvUser	C:¥Users¥ ¥RecvUser
自動保存 (出力...	ファイル自動保存先[AAT012]	C:¥Users¥ ¥RecvUser	C:¥Users¥ ¥RecvUser

インポートパス一括変更

変更前文字列 変更後文字列 実行

● 留意点

- ▶ 「オプション設定のインポート/エクスポート」はログオフの状態で行ってください。ログオン状態では使用できません。
- ▶ 7次から追加となる個人用入力チェック機能とオートコンプリート機能は7次側で直接設定してください。
- ▶ 6次と7次で電文を保存するフォルダを変更する場合はフォルダパスを設定しなおす必要があります。
- ▶ 6次と7次で電文を保存するフォルダを変更しない場合は6次用電文と7次用電文が混在します。
総合運転試験期間中は電文の混在にご注意ください。

※個別の変更は各項目右側の「参照」、一括変更は下部の欄に変更前パスと変更後パスを入力してください。(上図破線枠参照)
フォルダ名に「v6」の記載があっても「v7」に自動変換はされません。

メール処理方式からnetNACCS、インタラクティブ処理方式へのオプション設定の引継ぎについて

メール処理方式のパッケージソフトからnetNACCSへ変更される場合も一部設定を除き、基本的にオプション設定の引継が可能です。(6次メール⇒6次net/インタ、6次メール⇒7次net/インタの両方可能)

(1)メール処理方式のパッケージソフトにおけるオプション設定の移行方法

- ▶ 移行方法は前々スライドの場合と同様、「オプション設定のインポート/エクスポート」の機能をご利用ください。

(2)netNACCS、インタラクティブ処理方式におけるオプション設定インポートの際の注意事項

- ▶ オプション設定のサーバタブでメール処理方式のみに存在している、「ゲートウェイサーバ設定」、「自動送受信」、「一度に受信する電文の件数」の項目についてはnetNACCS、インタラクティブ処理方式では設定できませんので移行できません。(下図破線枠参照)

6次NACCSメール処理方式
パッケージソフト オプション設定
「サーバ」タブ画面

通信に必要な情報を設定します。

接続先サーバ

ゲートウェイサーバを経由する

トレース
 通信トレースを出力する

自動送受信
 自動送受信を有効にする

送受信間隔 分 動作 送受信 送信 受信

一度に受信する電文の件数 件

プロキシサーバ(管理資料情報取出手続接続用)
 インターネットオプションの設定を使用して接続する
 プロキシサーバを使用せず、直接接続する
 指定したプロキシサーバを使用して接続する
 プロキシサーバ名 ポート
 プロキシサーバ認証を行う
 ユーザー名 パスワード

別紙1-5 第6次NACCSで保存した電文の 第7次NACCSでの取り扱いについて

1.送信電文について

第7次NACCSで項目追加がある業務において第6次NACCSの電文を第7次NACCSや総合運転試験で利用したい場合は、**6月30日以前**に第6次NACCSで送信用外部ファイル保存しておくこと、パッケージソフトの自動変換処理機能により第7次NACCSや総合運転試験で利用する際に項目ずれすることなく展開が可能です。

※項目追加によって影響がある業務は次スライドの一覧に記載しております。

7月1日以降に第6次NACCSで保存した6次用の送信用外部ファイルは自動変換処理されず、第7次NACCSの電文として扱われる為、第7次NACCSで取り込んだ際に項目ずれが発生いたします。

また、7月1日以降にファイルを上書き保存した場合も同様に項目ずれが発生いたします。

項目追加がある業務において、6次用の送信用外部ファイルを第7次NACCSや総合運転試験で利用する際は、6月30日以前に保存したファイルを展開するようお願いいたします。

7次NACCSで項目追加によって影響がある業務一覧

業務コード	業務名	業務コード	業務名	業務コード	業務名
ACL01	ACL情報登録(コンテナ船用)	IDI	輸入申告等一覧照会	MSF02	通関系関連省庁添付登録(動物検疫所、植物防疫所)
ACL02	ACL情報登録(在来船・自動車船用)	IES	輸出申告等一覧照会	MWA	石油製品等移出(総保出)輸入申告事項登録
AMA	修正申告事項登録	IIN	包括保険照会	MWA01	石油製品等移出(総保出)輸入申告変更事項登録
DCC	内国貨物運送申告	IUE	別送品輸出申告一覧照会	RSS01	輸入コンテナ引取予定情報通知(ID)通知
DCE	内国貨物運送申告(承認)変更	IPA	輸入植物検査申請事項登録	SIR	S/I情報登録
EPA	輸出植物検査申請事項登録	JAJ01	外為法 申請者届出登録	SWA	シングルウィンドウ輸入申告事項登録
EPD	輸出植物検査申請事項登録(再輸出)	KKA	関税等更正請求事項登録	TKA01	一括特例申告事項登録
HKA	包括保険確認登録	MIC	輸入マニフェスト通関申告	TKB01	一括特例申告事項呼出し
IDA	輸入申告事項登録	MIE	輸入マニフェスト通関申告変更	UOM	メール型宛先管理登録
IDA01	輸入申告変更事項登録	MSF01	通関系関連省庁添付登録(検疫所(食品))	VAA	バンニング情報追加

(1)第6次NACCSにおける送信電文のPCへの保存方法

パッケージソフトの「送信済み」フォルダを開き、保存したい電文を選択し右クリックで「名前を付けて保存」を選択します。
 ファイル名を任意に付けて保存できますが、複数の電文を選択の場合は保存した際にファイル名末尾に1,2,3...と連番が付与されます。

※電文のエクスポート/インポート機能を利用した場合も自動変換処理されず、項目ずれにより正しく展開できませんので
ご注意ください。

(2)外部ファイル保存した送信電文を第7次NACCSで展開する方法

メインメニューの「ファイル」>「外部ファイルを開く」>対象のファイルを選択しますと送信電文の情報が反映された状態で
 該当業務の業務画面が開きます。7月1日以降に7次用ファイルとして展開可能です。

(3)第7次NACCSで展開した送信電文に項目追加分を追記して保存する方法

(2)で展開したファイルをもとに7次で追加される項目を入力し、総合運転試験期間中に送信し、送信電文を7次用の外部
 ファイルとして保存します。

総合運転試験期間中に7次用の外部ファイルとして保存しておくことで10月の7次稼働後の業務をスムーズに行うことが
 できます。

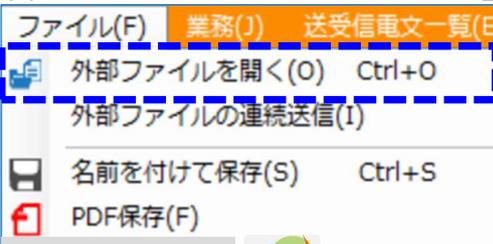
IDA業務を7次電文として保存する場合を例として前スライドの(1)から(3)までの流れを下図に示します。

(1)送信電文のPCへの保存方法



6次用外部
ファイル

(2)外部ファイル保存した送信電文の展開方法

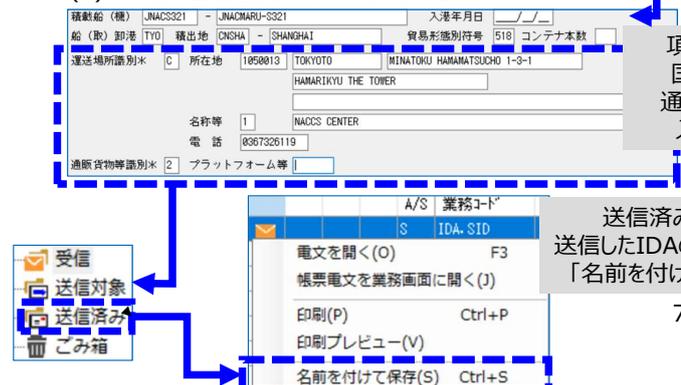


7月1日以降に7次で「IDA.txt」を選択

(7次のIDA画面が項目ずれなく展開されます)



(3)7次用の送信電文のPCへの保存方法



2.受信電文について

受信電文は第6次NACCSで外部ファイル保存や電文のエクスポートをした場合、第7次NACCSで項目追加がある業務においても取り込んだ際に項目ずれ等することなく展開が可能です。

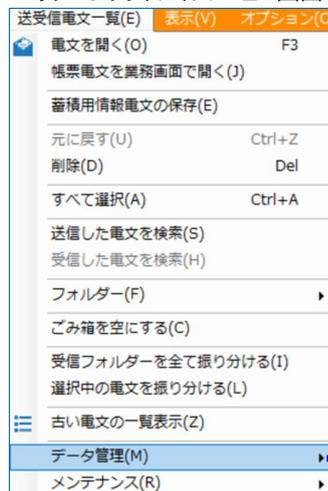
(1)第6次NACCSにおける受信電文のPCへの保存方法

①パッケージソフトの受信フォルダを開き、保存したい電文を選択し右クリックで「外部ファイル保存」を選択し、.txtファイルとして保存します。

複数選択した場合は保存した際にファイル名末尾に1,2,3…と連番が付与されます。(前々スライド(1)と同様です)

②複数電文をまとめて1ファイルとして保存したい場合は受信フォルダで複数電文を選択しパッケージソフトの「送受信電文一覧」>「データ管理」>「電文のエクスポート」を開き、.datファイルとして保存します。

パッケージソフトメインメニュー画面

複数受信電文の保存方法
.datファイル保存の場合

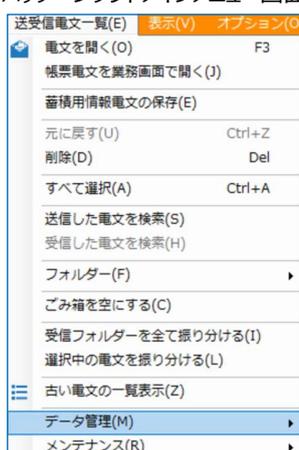
外部ファイルから受信電文を追加(D)
電文のインポート(M)
電文のエクスポート(X)

(2)外部ファイル保存した受信電文を第7次NACCSで展開する方法

①前スライド(1)の①にて.txtファイルとして外部ファイル保存した場合は「送受信電文一覧」>「データ管理」>「外部ファイルから受信電文を追加」を開き電文を選択します。

②前スライド(1)の②にて.datファイルとして保存した場合はパッケージソフトの「送受信電文一覧」>「データ管理」>「電文のインポート」を開き(1)で保存した.datファイルを選択しますと受信フォルダに複数の受信電文が展開されます。

パッケージソフトメインメニュー画面

受信電文の保存方法
.txtの外部ファイルから受信電文を追加の場合

外部ファイルから受信電文を追加(D)
電文のインポート(M)
電文のエクスポート(X)

受信電文の保存方法
.datファイルから展開する場合

外部ファイルから受信電文を追加(D)
電文のインポート(M)
電文のエクスポート(X)

別紙1-6 第7次用デジタル証明書の更改までの 再発行手順

別紙1-6 第7次用デジタル証明書の更改までの再発行手順(1)

第7次用デジタル証明書を一度取得した後に、10月の更改前までに端末入れ替え等にて再発行が必要となった場合、下記手順にて再発行のお申込みをいただく必要がございます。なお、第7次用NSSは更改前の暫定稼働中の為、現行と同等の翌営業日対応処理ができません。下段表をご確認の上、期間に余裕を持った手続きをお願いいたします。

再発行処理を行うと「認証コード3」が変わります。再発行処理日以降に第7次用NSSにてご確認ください。

※当該専用申込は第7次用デジタル証明書のみ再発行を行います。現行(第6次)のデジタル証明書の再発行が必要な場合は、別途第6次用NSSよりお申込みください。

①第7次NACCS掲示板(暫定版)より専用申込webフォームにアクセス



②専用申込webフォームに必要情報を入力

第7次用デジタル証明書 更改前再発行申込webフォーム

事業所コード

企業名

申込担当者

申込担当者電話番号

申込担当者メールアドレス

再発行希望論理端末名

別紙1-6 第7次用デジタル証明書の更改までの再発行手順(2)

第7次用NSSは更改前の暫定稼働中の為、現行と同等の翌営業日対応処理ができません。下記表をご確認の上、期間に余裕を持った手続きをお願いいたします。

再発行申込日	再発行処理日	総合運転試験	フェーズの各試験期間
—	※ 1	総合運転試験 フェーズ1	7月7日(月)~7月18日(金)
7月1日(火)~7月23日(水)	7月25日(金)	総合運転試験 フェーズ2	7月28日(月)~8月12日(火)
7月24日(木)~8月12日(火)までの申込分はフェーズ2期間中に再発行されません			
7月24日(木)~8月22日(金)	8月25日(月)	総合運転試験 フェーズ3	8月27日(水)~9月12日(金)
8月23日(土)~9月12日(金)までの申込分はフェーズ3期間中に再発行されません			
8月23日(土)~9月30日(火)	10月2日(木)	総合運転試験 フェーズ4	10月6日(月)~10月8日(水)
10月1日~10月11日は第7次用デジタル証明書の再発行申込みはできません。更改後に第7次NSSよりお申込み下さい。			
—	※ 2	第7次NACCS更改日(10月12日(日))(予定)から	

※ 1 : フェーズ 1 前・期間中の再発行処理日はございません。初回取得の前に端末を入れ替えるか、フェーズ1終了後に入れ替えをお願いします。

※ 2 : 更改後からは第7次用NSSより即時再発行のお申込みが可能となります。

※ 3 : 第6次でも利用している端末を入れ替えた場合については、別途第6次デジタル証明書の再発行申込みを第6次用NSSよりお申込みください。